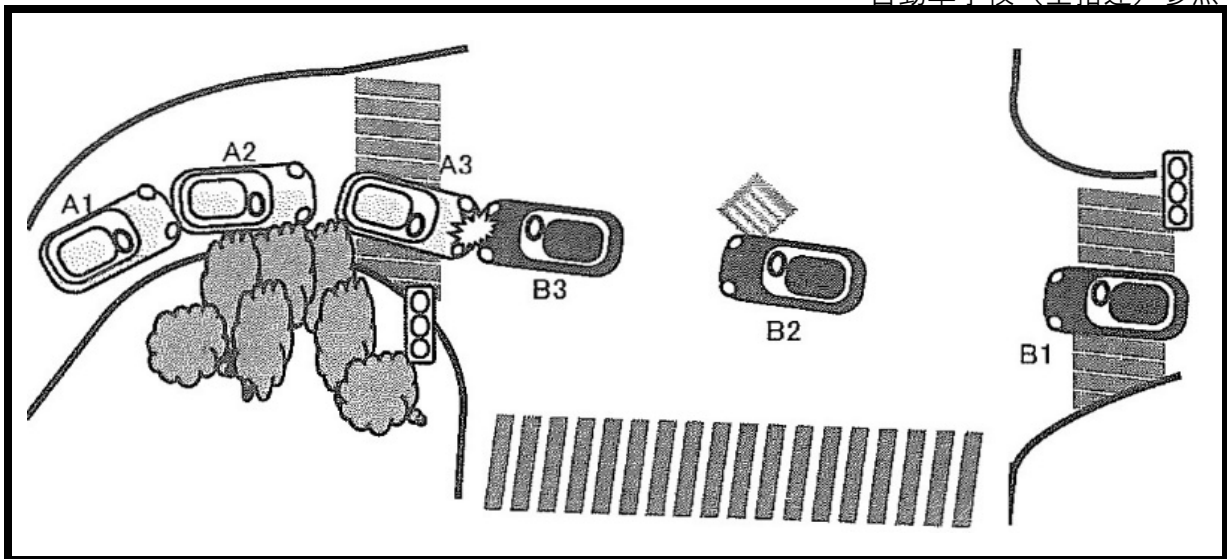


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：正面衝突

発生日時：7月 午前9時頃 曇り

当事者A：四輪車 40歳代 男性

当事者B：四輪車 30歳代 男性

■ 事故の概要

Aは、時々通る交差点を青信号で右折するに際し、仕事上の心配事を携帯電話で話ながら、かつ交差点手前の見通しの悪い右カーブを時速約30kmで、ショートカット気味に内回りで走って行きました。樹木等で前方が見にくい上、携帯電話での話にとられ、対向してきたB車の発見が遅れ、B車を発見しても慌ててしまってブレーキをかけることもできず、衝突しました。

Bは、毎日通る交差点を青信号で直進する予定で時速約45kmで走っていき、交差点の向こう側の道路が見通しの悪いカーブになっており、その上、対向車のA車が内回りしてきたため見えにくく、約12m前方にA車を発見したものの、急ブレーキをかけたが間に合わず衝突しました。

■ 事故から学ぶ

今回の事故は、Aが狭い見通しの悪い右カーブをショートカットして内回りしたことが大きな原因です。対向車は来ることはないとの思い込みがあったこと、携帯電話での話に注意を取られたこと、携帯電話を使用していたために片手で運転をしていたことなどが要因と考えられます。カーブでの相手車線へのはみ出しは大変危険ですので気をつけましょう。

もちろん、運転中の携帯電話の使用は、法律で禁じられています。